

若松かねしげ四季報(春季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2015年1月1日～4月12日

昨年末の急な解散総選挙から慌しく新年を迎え、補正予算審議が1月7日から始まり、新年早々、国会と地元新年会の往復が始まりました。

今回の四季報では、1月26日召集の通常国会での予算委員会理事または環境部会長等、国会での重責をこなしながらの統一地方選の戦いを中心に活動の様子をお伝えするとともに、新たな秘書を迎え、新体制となった若松事務所状況もお知らせいたします。

平素からの皆様のご支援に、感謝の思いでいっぱいです。国政において実績を上げ、皆様のご期待にしっかりお応えしてまいります。

1. 政 局

(1) アベノミクス政策と2015年通常国会

アベノミクスによるデフレ脱却とマクロ経済の好循環を、中小企業や地方へ見える形で波及させるには、早期の予算成立が不可欠です。

1月9日に開かれた公明党の政調全体会議では、昨年12月27日に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」3.5兆円を含む平成26年度補正予算と、平成27年度予算大綱を、1月12日(祝日)には平成27年度本予算を審議しました。

1月26日召集の通常国会にこの補正予算が提出され、2月3日の成立まで、与党ペースで審議が進みました。その後、補助金を受けている団体からの献金問題から農水大臣の交代があり、政治資金をテーマにした予算委員会が何日か開催され、平成27年度本予算審議に入ったのが2月23日、衆議院での予算通過が3月13日となり年度内成立には至りませんでした。

参議院予算委員会も、様々な野党の要求を受け入れ、参議院では衆議院の審議時間76時間に匹敵する70時間を費やし、自然成立1日前での予算成立となりました。

(2) 格差社会、政治とカネ、安保法制の国会論戦と統一地方選

予算委員会では、与党はアベノミクス効果を、野党は格差社会を強調し、かみ合わない議論に多くの時間が費やされました。

予算委員会の現場では、民主党を中心に、下村博文文部科大臣の政治とカネを

何度も取り上げましたが、野党に対するマスコミの批判的な報道も多くなっています。

ISIL（イスラム国）に対する安倍総理の発言も野党の攻撃の対象になっていましたが、テロの脅威と安全保障法整備の議論の重要性が交差する中、3月20日、与党協議会による「安全保障法整備の具体的な方向性について」と題した中間とりまとめが決定され、4月14日から与党で法案審査が行われます。

このような国会情勢の中、統一地方選の前半戦が4月12日投開票となり、公明党道府県議170名のと、大阪市此花区を除く政令市議174名が激戦を勝ち抜き当選させていただきました。党员・支持者の真心からのご支援に、衷心より厚く御礼申し上げます。今回の統一地方選では、政権与党に対する昨年末の衆議院総選挙と大きな変化は見られず、前半戦が終了しました。

2. 国会活動・党務

（1）担当委員会と国会活動

① 予算委員会理事

<補正予算>

通常国会は冒頭から、平成26年度補正予算が審議され、2月3日に参議院で可決・成立しました。しかし、野党からの要求で、4日衆議院、5日参議院で集中（TV付）予算委員会が開かれました。

私は5日に質問に立ち、アベノミクスと格差社会、福島復興、東電改革、首都圏大震災時の福島空港防災機能強化を取り上げました。特に、太田昭宏国土交通大臣に原発事故避難者の高速道路無料化延長を要望したところ、延長するとの答弁を引出し、翌日の福島民報新聞1面に紹介されました（議事録添付）。

<本予算>

参議院は3月16日から4月8日まで、延べ14日間、計70時間の予算審議が行われ、私は理事のため、第一委員会室に座りっぱなしの毎日でした。

3月23日の一般質疑（TVなし）では、政策事業レビュー、農業経営問題、原発事故賠償問題、中間貯蔵施設の第三者機関を取り上げ、3月26日の公聴会では、経済・財政・社会保障関係の専門家への質問を行いました。

4月8日の集中審議（TV付き）では、自公政権の社会保障政策、再エネによる水素エネルギーを創る「水素社会形成推進基本法」制定の提言、政策事業レビューの更なる改善要望を行い、安倍総理から前向きな答弁を引き出すことができました。（議事録添付）

② 内閣委員会オブザーバー理事

内閣委員会は、8大臣所管の幅広い委員会であり、今国会でも、6本以上の法案が審議されます。

3月27日の委員会では、大臣所信に対する質疑があり、私は、会津若松市データバレー構想、データセンターの整備、子ども・子育て支援、地方創生を取り上げました。

4月7日の委員会では再度、データセンターの課題を深く掘り下げ、地方創生では、岩手県葛巻町の取組を紹介し、頑張る自治体への顕彰制度を提案しました。

③ 東日本大震災復興及び原子力問題特別委員会理事と委員会視察

今通常国会から東日本大震災復興と原子力問題の特別委員会が一つに統合され、最初の仕事は、2月23日の委員会視察でした。この日は郡山、広野、楢葉、双葉の関係施設を視察し、その夜、京都に移動し、予算委員会視察に合流しました。

24日の予算委員会視察は、京都市内の先進企業等を訪ねました。

翌週の3月2、3日は内閣委員会の視察で静岡市と浜松市を訪れ、ニュートリノのカミオカンデ、小惑星探査機「はやぶさ」の2つの装置等を開発した浜松ホトニクス（株）等を視察し、改めて日本企業の技術力と成長性を実感しました。

これら3委員会の理事兼務のため、委員会視察の日程調整に大変苦労しました。

(2) 公明党政務調査会活動

① 国会論戦チーム

本会議や予算委員会での代表質問は、代表、幹事長、政調会長クラスが重要な場面で登壇するため、取り上げる重要政策課題を衆参選抜議員が議論する「国会論戦チーム」に、私は予算委員会理事として10回以上の論戦チーム会議に出席しました。

② 環境部会長

本年は、3つの法案審査、中間貯蔵施設に関する検討、さらには12月のCOP21（地球温暖化対策枠組条約締結国会議）支援のための会合を5回開催しました。COP21は、再エネや原発等の構成比率を決めるエネルギーミックスと関係するため、最近は、欧州連合（EU）やマスコミ各社からの問い合わせが多くなってきました。

③ 半島振興プロジェクト

年度末で期限切れとなる「半島振興法」延長・改正の説明のため、2月9日、大分を訪れ、国東半島の27メガ太陽光発電施設を視察し、地元首長に「半島振興法改正案」の内容を説明し、日帰りで東京に戻りました。

④ 農協改革インナー会議

農業協同組合法の改正のひとつに全中監査の在り方が政治的課題となり、私の友人が農業監査委員会委員長を務めていたこともあり、私もこの党内少人数の会議に加わり、法律改正作業に参加しました。

⑤ 安全保障法制整備

3月20日、「安全保障法制整備の具体的な方向性について」が与党協議会として取りまとめられました。この日まで、党内で10回の会合を重ね、昨年7月の閣議決定の内容が今後の法整備に盛り込まれることを確実にするため、ほとんどの公明党国会議員が出席し、私も議論に参加しました。

4月14日から法案審査が始まります。「平和の党」公明党の主張が曲げられないよう、議論にしっかり参加し、国民の不安を払しょくする法案に仕上げたいと思います。

(3) 出版企画『福島再エネ100%イノベーション』

福島県が3年前発表した「再生可能エネルギー推進ビジョン」において、2040年までに県内エネルギー需要を再エネ100%で供給する計画を応援するための出版企画です。現在は初校段階ですが、ゴールデンウィーク明けの完成めざして作業を進めています。この企画には、エネルギー庁、環境省、福島県庁の協力を得て、サブテーマ「原子力社会から水素社会へ」の実現のため、前述の安倍総理等への政策提言も同時並行で進めています。

3. 国会外・地域活動

(1) 新春街頭演説と新年会

本年も、恒例の新春街頭演説を、元旦は晴天の郡山市と大雪の山形市（最重点区山形市きくち文昭予定候補者）で、2日は仙台市泉区（伊藤かずひろ予定候補者）で行いました。

新年会は3日から始まり、北海道3か所（釧路、札幌）を含む21か所（昨年25回）の新年会に出席させていただきました。昨年は当選挨拶が多く、さらに、今年は1月7日から国会での会合も入り、昨年より若干少なくなりました。

(2) 統一地方選前半選

<上尾市>

2月20、21日の夜は、衆議院時代私の第1秘書であった「いしわたり豊県議（上尾市・伊奈町選挙区）」が最重点候補者となり、私の元小選挙区の支持者に集



まっていただき、久しぶりの懇談をしました。

<北海道>

3月8日は、同じく最重点区の安藤くにお道議（苫小牧市選出）の青年フォーラムと東苫小牧高のOB会に出席し、応援の挨拶をさせていただきました。

私が国会で時間が取れないため、旭川市出身の秘書が、最重点区である札幌市の東区、北区、白石区の公認会計士、税理士、行政書士事務所をまわりました。

<山形市>

東北最重点区の菊地ふみあき県議の応援は、3月21日の市内挨拶、4月7日は翌日のテレビ付き予算委員会の質問準備を新幹線車中で行いながら、菊地候補者の地元である双月地区の個人演説会に参加し、約50名の参加者に応援の願いをし、最終で都内に戻りました。

<八戸市、青森市、秋田市>

4月3日告示日の出陣式には、同じく最重点区の八戸市選挙区のはたけやま敬一県議の応援に駆け付け、その日の午後は青森市の伊吹しんいち県議を応援。その夜は秋田市まで移動の予定でしたが、大雨による米代川の増水によりJR特急が運休となり、浪岡から弘前までタクシー、弘前から大館までJR、大館から秋田市までバスに乗り継ぎ、所要4時間かけて深夜、秋田市に到着できました。

翌4日は、9か所で秋田市選出の田口さとし県議の応援演説をし、5日は青森市と八戸市の応援演説を行い、夜は首都圏にもどるという強行軍でした。

<大宮区>

首都圏で一番厳しいさいたま市大宮区の「宮沢のりゆき」候補の応援に、国会日程をかいぐり、3月31日と4月10日の両日、平成5年初当選の旧選挙区であったさいたま市大宮区の支持者を回りました。

予算委員会審議中であつたため、私に代わり、3人の秘書が札幌市、八戸市、山形市の公認会計士、税理士、行政書士の事務所、約400か所をまわってくれました。

（3）統一外地方選

1月18日、五所川原市の市議会選挙告示日に応援に行きました。当日は、五所川原名物の地吹雪が迎えてくれ、候補者事務所前、立佞武多館、金木三味線館前等、6か所で応援演説を行いました。北海道でも経験しない、目の前が真っ白になる地吹雪の中、大勢の支持者の応援をいただきながら、前回より順位を4位上げる結果で勝利できました。

3月15日は、2人の予定候補者のうち1人が新人という喜多方市に、真山祐一衆議院議員と伺いました。その日、急きょ、候補者の依頼を受け、前日までの豪雪でアスパラガス農家のビニールハウス100棟が倒壊した山都地区の現場を



視察しました。早速、真山議員と一緒に政府に対応を申し入れ、迅速な対応ができました。

(4) 公明党北海道・県本部主催パーティー

1月23日は札幌市内で企業セミナー、24日は釧路総支部パーティー、2月8日は岩手県本部主催（盛岡市）、3月28日は福島県本部主催（郡山市）の政経セミナーに出席させて頂きました。とくに、福島県内衆参2名の国会議員を抱える郡山市では、過去最高の千名を超える方々参加をいただきました。

(5) 公明党福島復興加速化本部議長

仕事始め3日目の1月7日から、福島復興加速化、東電補償説明、中間貯蔵施設等の会議が国会内で行われました。

赤羽一嘉前経済産業副大臣が党務に戻り、隔週で福島イノベーション・コーストプロジェクトチームと合同で、福島復興会議を開催しています。

3月1日は、安倍総理、太田国交大臣と一緒に、歴史的な常磐道全線開通式に参加しました。

3月7日には、仙台市で東日本大震災復興加速化会議を開催し、その後、山口代表及び福島担当国会議員と、南相馬市の介護ロボットスーツやドローン（ロボットヘリ）を製造する（株）菊池製作所、中間貯蔵施設予定地、富岡駅等を視察しました。

(6) グローバルインターネット

3月20日、年2回開催してきた第29回グローバルインターネットを大宮で開催し、講師にエジプト考古学者の吉村作治氏を迎え、「アラブとは、イスラムとは」と題して講演していただきました。ISIL（イスラム国）の脅威が報道される中、自らがイスラム教徒である吉村氏の深い見識と洞察に、多くの複雑な要素が存在することを学び、今後の外交政策に役立ちました。

(7) その他視察

1月11日、蔵王山のふもと白石市河原子集落の代表の方々とは鳥獣被害の意見交換をしました。

3月14日は、2月5日の予算委員会の席上、安倍総理に直接出席を要請した国連防災世界会議に参加し、政党唯一の公明党宮城県本部主催シンポジウム等、数か所のワークショップを視察しました。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地秘書）

従来通り、恩田さんと菊地さんがサポートしています。4月から5月中旬まで、マンスフィールド財団の交換留学生として、米国エネルギー省から、キャメロン・サロニーさんが若松事務所で研修を行っており、国会の様子を見学したり、山形市での統一地方選の現場等に同行したほか、エネルギー関連の視察を予定しています。

*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館 1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤第公設1秘書）

以前の郡山事務所は真山衆議院議員の事務所となり、私は、県都の福島市内に事務所を移転しました。自宅は郡山市清水台で変わりません。

*福島県福島市陣場町8-24 SSTビル2階
Tel:024-522-2500 Fax:024-522-2505

③盛岡事務所（太田公設第2秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けました。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8 ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（公認会計士業務および資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

⑤新橋事務所—企業新生、事業再生、税務コンサルティング等の高度な相談事項、NPO法人行政再生の仲間との行財政構造改革（財政の見える化）などの政策立案の活動拠点です。末松さんがサポートしています。

*事務所：東京都港区西新橋3-5-2
Tel:03-5777-2123 Fax:03-5777-2130

以上